



葛巻小学校の体育館が完成



思いっきり駆け回る子どもたち



ミルクとワインをイメージした体育館の外観

葛巻小学校の体育館が2月末に完成し3月4日、待ちに待った児童たちが「体育館の完成をよろこぶ会」を開き新しい体育館を駆け回りました。

近藤聖校長はあいさつで、体育館の使い始めに児童らと「感謝の心を忘れない」「大事にきれいに使う」「いっぱい運動する」の3つを約束しました。

3年の遠藤千尋さんは「初めて中に入ったとき、木のおいがありました。床もピカピカで、大事に使います」と話しました。

さっそくみんなで遊ぼうと、先生がサングラスをかけ子どもたちを追い掛ける「ゲーム逃走中」が始まると、大きな歓声と

ともに子どもたちが体育館を思いっきり駆け回りました。

新しい体育館は木造平屋建て、延べ床面積は1,194㎡。柱や梁に葛巻産の大断面構造用集成材をふんだんに使い、床暖房を設備。ステージは音響や照明が充実しています。車椅子や小さなお子さま連れの方でも利用できるトイレを設置し、バリアフリーにも配慮しています。外観は、ミルクとワインをイメージした色になっています。

新しい体育館は、学校行事のみならず地域や各種団体への一般開放、災害時の拠点など多目的に利用できる施設です。



奥羽りなさん・星野帆乃華さん 見事！スーパーキッズに!!

世界で活躍するスポーツ選手の輩出を目指す岩手県の「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」で葛巻小6年の星野帆乃華さん④と葛巻中1年の奥羽りなさん④がスーパーキッズ4期生に選ばれました。

2人は学校での「新体力テスト」で1次選考を、県内10ヶ所で20m走や反復横とびなど体力測定で2次選考を、記録測定や面接などの最終選考を通過し選ばれました。

きっかけは2人とも、1期生

に選ばれた学校の先輩でもある「峠館由衣さん（盛岡三高1年）にあこがれて」「陸上の長距離を頑張りたい」というりなさんは、いっぱい運動して、いっぱい食べて、いっぱい寝るように心掛けているそうです。「スノーボードが好き」という帆乃華さんは、これからいろんなスポーツに挑戦してみたいそうです。

これから2人は月1～2回行われる「スペシャルスクール」に親子で参加し、身体能力や知的能力を高めていくことになります。

応援してくれた皆さまに☆スマイル44コンサート



22年度に結成し活動をスタートした葛巻小学校合唱クラブ（部員44人）の「スマイル44コンサート」は3月5日、町総合センターで行われました。保護者や地域の方々など120名が子どもたちの明るい歌声を楽しみました。

第1部ではNHK合唱コンクールの課題曲で、町合併55周年

記念式典でも歌った「緑のラララ」や「いのちのいっちょうめ」などを、第2部では学年ごとのアンサンブルや3人が独唱にも挑戦しました。

第3部では「With You Smile」などで締めくくり、全17曲を披露し観客から大きな拍手が送られました。



喜びに満ちた表情で卒業証書を受け取る卒業生

57人が学びやを巣立つ 葛巻高校で卒業式挙行

県立葛巻高等学校の卒業式が3月1日、同校の体育館で挙行され57人の卒業生が母校を巣立ちました。

卒業生は喜びに満ちた表情で、ひとりずつ高松博明校長から卒業証書を受け取りました。高松校長は式辞で「自分を磨き、進歩向上させようとする強い意志を持ち、自らの人生を歩んでください」とはなむけの言葉を贈りました。

卒業生を代表して前生徒会長の澤勇摩さん（3年）は、「この学びやで培ったたくましさや仲間パワーを武器に、決しておそれることなく突き進んでいくことを誓います」と答辞を述べました。

集団就職・苦学の経験 前野十行さんが講演会

江刈中学校の卒業生で千葉県で教員生活をおくった前野十行さんの講演会が3月9日、同校で行われ在校生や前野さんの同級生、地域の方々など80人が参加しました。

前野さんは昭和41年に同校を卒業後、集団就職列車で上京し、仕事をしながら夜間の高校、大学に通い教員免許を取得しました。図書館の扉にある「押せば開く」や「道は開ける」という言葉に励まされた経験などを語りました。

村田大成さん（3年）は「今までずっと親に世話をしてもらっても、感謝しなかった。これから周りの人や親に感謝の気持ちを伝えていきたい」と感想を述べました。



母校の江刈中で講演する前野十行さん

愛って？反対はなに？ なごやか子育て研修会

子育て中のお母さんなどを対象とした子育て研修会が3月6日、町総合センターで開かれ、37人が参加しました。

講師の西里真澄さん（助産師）からの「あなたにとって愛とは何ですか？」「愛の反対は何ですか？」という問いに、会場の参加者からは「優しさ」「思いやり」「好き」などの答えが出て、とてもなごやかな雰囲気になりました。

丸山ちはやさん（芸術あそび虹色の部屋主宰）は「絵本を通して子どもの想像力を引き出し、五感を使い人生を楽しむ時間を子どもと共有しよう」と語りました。この研修会で、初めて試みた託児所の利用者は19人でした。



とてもなごやかな雰囲気の子育て研修会